招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成28年6月17日

警察庁長官官房会計課理事官　谷　　滋行

◎調達機関番号　009　◎所在地番号　13

○第904号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14、71、27

⑵　導入計画物品及び数量

不当要求情報管理機関支援システム　1式

⑶　調達方法　借入等

⑷　導入予定時期　平成29年度

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

詳細は導入説明書による。

2　資料及びコメントの提供方法

⑴　資料等の提供期限　平成28年7月19日17時45分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒100―8974 東京都千代田区霞が関2－1－2　警察庁情報通信局情報管理課　鈴木　知広　電話03－3581－0141　内線2481

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成28年6月17日から平成28年7月19日まで。

⑵　交付場所　上記2⑵に同じ。

4　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14, 71, 27

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Support system for organizations for management of information on unjust demands, 1 set

⑶　Type of the procurement : lease

⑷　Basic requirements of the procurement : as enclosure

⑸　Time-limit for the submission of the requested material : 17 : 45　19 July, 2016

⑹　Contact point for the notice : Tomohiro Suzuki, Information Systems Division, Info-Communications Bureau, National Police Agency, 2―1―2 Kasumigaseki Chiyoda-ku Tokyo 100―8974 JAPAN. TEL 03―3581―0141 ext. 2481

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成28年6月17日

分任契約担当者

国立研究開発法人科学技術振興機構

契約部長　岩田　一彦

◎調達機関番号　566　◎所在地番号　13

○第28―104号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　16、71、27

⑵　導入計画物品及び数量　共通ＩＴ基盤の更改　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　平成29年4月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

Ａ）共通ＩＴ基盤は、国立研究開発法人科学技術振興機構（ＪＳＴ）が保有する業務システムを集約し、一元的に管理することを目的として構築したシステム基盤（プライベートクラウド）である。システムの標準化・共通化を図りつつ、システムの開発・管理・運用の効率化を推進し、ＩＴガバナンスを支える基盤として位置付けられるものである。クラウドＯＳとしてCloudstack、ハイパーバイザとしてXenServer（ＯＳＳ）、運用管理ツールとしてZabbixを利用している。2014年4月から運用しており、2019年3月で製品のサポートが終了となることから、次期共通ＩＴ基盤を調達し、共通ＩＴ基盤の更改を行う。

Ｂ）次期共通ＩＴ基盤は、約90のシステム（仮想サーバ約500台）を搭載する予定である。インターネット上に公開して各種情報やサービスを提供するシステムの他、ＪＳＴ内部で利用する基幹システムも搭載することになる。次期共通ＩＴ基盤は、オンプレミスのプライベートクラウド環境とパブリッククラウドサービスを利用したハイブリッドクラウドの形態として、次の構成を想定している。

①　仮想化環境を構成するサーバ群。物理ＣＰＵの総コア数は1728コア程度、物理メモリは12288ＧＢ程度。

②　仮想化環境を構成するストレージ。総実効容量は1000ＴＢ程度（プライマリストレージ、セカンダリストレージの合計）。

③　仮想化環境を構成するソフトウェア。

④　仮想化環境を管理する管理サーバ群。仮想サーバやネットワークの作成・変更・削除、稼働監視、リソース管理、構成管理、ソフトウェアバージョン管理、ログ管理、ＮＴＰ、ＤＮＳ、ＳＭＴＰサーバ等、仮想化環境を運用・管理するために必要な機能を有すること。

⑤　仮想化環境を構成するサーバ群とストレージ間、各サーバ間のネットワークを構成する機器類。

⑥　ＪＳＴ内部向けの基幹システムであるファイルサーバ用サーバ群。総実効容量は500ＴＢ程度。利用者数は1800人程度。

⑦　仮想サーバやファイルサーバ上のデータを計画的にバックアップするための環境（バックアップサーバ、ストレージ、ソフトウェア）。実効容量は1000ＴＢ程度。

⑧　ＩＰＳ、ＦＷ、ＷＡＦ等、外部からの攻撃防御やログを取得するためのセキュリティ対策機器あるいは同様の機能を持つサービス、ロードバランサ。ＪＳＴにおける運用の負荷がなるべくかからないことが望ましい。

⑨　ＢＣＰ機能：被災時を想定し、重要データを退避し、補完する機能を持つこと。

⑩　ＤＲ機能：被災時であっても、ＪＳＴのホームページ用サーバとファイルサーバは通常と同等レベルでシステム稼働を継続させる機能を持つこと。

Ｃ）仮想化環境を構成するサーバ群、ストレージ、ネットワークを構成する機器類などは、仮想環境に搭載するシステムの安定稼働に十分な性能であること。

Ｄ）仮想化環境を構成するソフトウェア（クラウドＯＳやハイパーバイザ）は、実績のある安定した商用ソフトウェアを基本とするが、XenServer（ＯＳＳ）等も利用したマルチハイパーバイザ環境も想定している。

Ｅ）ＣＰＵやメモリ、ストレージのリソースの追加が可能であること。また、リプレース時の部分的移行が可能となるよう、物理サーバ単位やクラスタ単位、ＰＯＤ単位での追加が可能であること。

Ｆ）ツール等により、既存環境（Xenserver）からの仮想サーバの移行が可能であること。

Ｇ）小規模システム用として、一部パブリッククラウド環境を利用することも想定している。リソースはＷｅｂサーバ90台程度の見込みであるが、利用状況により変動する。

Ｈ）ハイブリッドクラウド環境を統合管理することができること。

Ｉ）ラック数は7～10本程度であること。

Ｊ）全機器の総消費電力は70ｋＷ程度以下であること。

Ｋ）それぞれの機器、ソフトウェアは、正規のメーカーサポートや保守を受けることができること。

Ｌ）それぞれの機器は保守契約により少なくとも7年間は使用できること。

Ｍ）システム基盤やネットワーク機器の運用、保守などの一連の維持管理業務（例えば、機器のファームウェアバージョンアップ、仮想化環境を構成するソフトウェアのパッチ、稼働状況、リソース、構成管理、ハードウェア障害対応など）を一つのベンダーで一元的に実施できることを想定。

2　資料及びコメントの提供方法　上記1⑵の特定役務に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　提供招請する資料等

①　提案書

②　カタログ

③　価格表、定価証明書、及び納入実績

④　運用体制に関する資料（内容、形態等）

⑤　その他、必要と思われる資料